

平成26年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	病児保育室『カンガルーム』
所在地	四日市市中部8番17号
指定管理者	<p>名称 医療法人 里 仁 会</p> <p>代表者 理事長 二宮 俊之</p> <p>住所 四日市市中部8番15号</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒヤリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次第の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>こども未来部こども未来課</p> <p>TEL：059-354-8069</p> <p>E-mail：kodomomirai@city.yokkaichi.mie.jp</p>

■ モニタリングの総合コメント

市内唯一の病児保育室として、併設する医療機関との連携のもと、児童の体調の急変や職員配置についても柔軟に対応し、病気回復期等の児童の健康維持と、保護者の安心した就労を図るという目的を達成することができた。法人は、ISO9001の品質マネジメントシステムを採用しており、同システムの規定に基づき、事務・経理・安全管理に至るまで、明瞭かつ安全な管理運営体制となっている。また、随時マニュアルと実務との照合を行っており、形骸化しないシステムづくりに努めている。

また、毎年品質目標を掲げ、その目標に向けて具体的取組を設定することや、年間計画に基づき、時期ごとに課題となるテーマの職員研修をその時期に行うことで、サービス向上や職員の技術向上にも力を入れている。年に2回行っている利用者アンケートからも、児童が安心して過ごすことができ、保護者からも高い信頼を得ていることがわかり、満足度の高い保育サービスを提供することができていると評価できる。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

当施設では、職員からの報告書をもとに安全確保のための考察を行うリスクマネジメント委員会を毎月開催している。また、業務上で修正すべき課題が生じた場合には、是正・予防措置の検討を行い、後日、法人の管理責任者による現地確認チェックを受けることにより、確実に対応することができている。現在、業務改善が必要なほどの大きな課題はないと思われるが、新たな課題が発生した場合には、その課題に前向きに取り組む体制はできている。引き続き、更なるサービス向上のための業務改善に努めるよう、適切に確認及び指導を行う。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

病児保育を行うことにより、保護者が安心して就労できるというメリットがあり、緊急を要する医療行為等にも迅速に対応できる福祉施設として重要な役割を果たしている。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

病気回復期等の子どもを保育する市内唯一の施設として、子どもが病気から回復し、早く通常の生活に戻るための専門的な保育・看護を行うことで、子育て家庭への支援に重要な役割を担っている。病気に応じて部屋を分けて保育したり、感染防止の陰圧式で空調を管理しているなど、衛生面でも配慮が行き届いている。毎日の業務内容は、ISOの規定に基づいた手順書に従って行われており、年に数回実務との照合・修正を行っている。また、毎年品質目標を掲げ、それを達成するための具体的取組を設定している。平成26年度は利用児童に季節感のある取組みを行うことができるよう保育メニューを工夫することに力を入れた。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

職員は、看護師1名と保育士2名を配置している。病気流行期に利用児童が増加する際には、運営母体である医療法人（病院）からの支援のもと、事前登録制のオンコール保育士を加配することで、柔軟に対応している。また、法人指導のもと、月1回リスクマネジメント委員会を開催し、堅実かつ適正な運営に努めている。また、年間計画に基づき、月1～2回程度教育訓練・研修を行い、安全確保とサービスの向上に努めている。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

法人の事務長を中心に、担当職員により適正に運用されていた。また、利用における登録事務や収納金の処理などにも誤りはなく、正確かつ迅速に事務処理がなされていた。各種文書・記録類については、ISOの規定に基づき適正に整理・保存されていた。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

施設・備品の管理面では、陰圧方式による換気制御装置も設置されており、多種類に及ぶ病気が発生した場合でも病気ごとに異なるスペースで保育するなど、施設内感染の予防に努めている。使用備品についても、マニュアルに従い定期的に消毒を行っており、徹底した衛生管理を行っている。施設・設備の点検を行うほか、各職員が事故につながるようなリスクに気づいた場合には、その都度報告書を作成し、全職員に注意を促すことで、常に安全性向上に努めている。

また、インターフォンとオートロック、緊急地震速報受信機による防犯・防災対策を行っている。危機管理に関しては法人がISO9000シリーズの認証も取得している。

緊急時の対応については、二方向への避難経路の確保や消防隊の非常進入口としてのベランダの設置など、法人の管理担当職員の指導のもと、適正な維持管理に努めている。また、法人と連携し避難訓練・応急手当講習を実施し、危機管理意識の徹底と、災害時の対応強化に努めている。

社会性（環境等への配慮）

各自で省エネを心がけ、不要電灯の消灯や、裏紙使用、不要な古封筒や画用紙を利用児童の工作に使用するなど工夫している。また、病児を預かる施設として、清潔な環境づくりに努めている。

事業収支

経済性

指定管理料は、保育士や看護師の人件費が主なものであるが、平成26年度は、感冒・インフルエンザの流行が比較的穏やかであったことから、人件費は昨年度より減少した。管理費についても、経費節減努力を行ったうえで、ほぼ計画どおりに執行していた。その結果、病児保育室としての収支はプラスとなった。

団体の経営状態

経営の健全性

財務諸表等の内容を精査したところ、特に課題・問題等はなく、安定した経営が行われていると判断できる。

その他

障害者雇用に対する取組み

当施設では障害者の雇用を行っていないが、法人としては医療事務職での障害者雇用を行っており、雇用率は2.84%と法定雇用率を上回っている。今後も取組みを継続していくよう働きかける。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成26年度

施設名	四日市市病児保育室『カンガルーム』		所管課： こども未来課
所在地	四日市市中部8番17号		設置年月： 平成12年8月21日（開設）
設置目的	保護者の子育てと就労の両立を支援するため、病気回復期には至っていないが当面症状の急変のおそれがない、もしくは回復期にある児童を一時的に預かる施設として、四日市市病児保育室を設置する。		
設置の根拠	四日市市病児保育室設置条例		
(法令、条例等)			
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (㎡)	180.10㎡
		延床面積 (㎡)	225.60㎡
	医療法人 里仁会（病院名：二宮病院）の敷地の一部を借り受け、病院併設型の病児保育室として開設。鉄骨2階建てで、保育室のほか観察室、ホールを設置。		
	事業概要	病気回復期には至っていないが当面症状の急変のおそれがない、もしくは回復期にあり、保育園などでの集団生活が困難な児童で、保護者の勤務等の事情により、家庭での育児が困難であると認められる場合に、あらかじめ二宮病院での診察を受けて利用許可を得た児童を保育する施設として設立。	

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
開館日数	296日	282日	△14日
開館時間	8:45～17:30	8:45～17:30	計画通り

3. 利用実績

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
延べ利用者数	1,460人	1,311人	△149人
平均利用率	平均 4.9人/日	4.6人/日	△0.3人/日

4. 事業収支

(単位:円)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
指定管理料	17,100,000	17,100,000	0
利用者昼食代	725,000	658,982	△ 66,018
雑収入	15,000	13,402	△ 1,598
収入計	17,840,000	17,772,384	△ 67,616
人件費	16,600,000	16,415,118	△ 184,882
管理費	904,500	937,053	32,553
《内訳》消耗品費	170,000	153,498	△ 16,502
燃料費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
光熱水費	0	0	0
修繕料	98,000	153,700	55,700
通信運搬費	1,500	1,348	△ 152
広告料	0	0	0
手数料	0	0	0
保険料	5,000	4,694	△ 306
委託料	170,000	169,238	△ 762
その他	460,000	454,575	△ 5,425
事業費	0	0	0
一般管理費	0	0	0
支出計	17,504,500	17,352,171	△ 152,329
収支	335,500	420,213	84,713

平成26年度 四日市市病児保育室『カンガルーム』運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	296日	282日	△14日	土曜日など利用者のない日もあったが、常に受け入れできる体制を調べていた。	適
開館時間	8:45~17:30	8:45~17:30	計画通り	計画どおり執行された。	適

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
延べ利用者数	個人利用者数	1,460人	1,311人	△149人	インフルエンザ・感冒の流行が例年に比べ穏やかであったこと、軽症傾向であったことから、計画に比べ利用が少なかった。	適
	事業参加者数	1,460人	1,311人	△149人		適
事業参加者実績	利用料0円層	280人	185人	△95人	計画に比べ、利用が少なかった。	適
	利用料1000円層	60人	71人	11人		適
	利用料2000円層	1,120人	1,055人	△65人		適
稼働率	平均	96.00%	95.27%	△0.73%	認知度が高まった結果、平日はほぼ100%の稼働率であった。土曜日は、保護者が休みである場合が多いこと、インフルエンザ・感冒の流行が穏やかであったことから、計画を下回った。	適
	平日	99.00%	99.17%	0.17%		適
	土曜日	84.00%	77.77%	△6.23%		適

3. 事業収支

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否		
指定管理料	17,100,000	17,100,000	0	指定管理料として、平成26年度～30年度で契約。	適		
利用者昼食代	725,000	658,982	△66,018	利用者からの昼食代負担金。利用人数が計画を下回った。			
雑収入	15,000	13,402	△1,598	オムツ代等			
収入計	17,840,000	17,772,384	△67,616				
人件費	16,600,000	16,415,118	△184,882	〔通常勤務：看護師1名、保育士1名、臨時保育士1名及び常勤職員の休暇補充対応、利用者増に対応する加配職員を随時配置〕 〔人件費〕計画よりも利用人数が下回ったため、加配職員の配置が少なくなり、決算額は減少した。 〔消耗品費〕保育にかかる消耗品のほか、事務用品等の支出である。経費節減努力により計画を下回った。 〔修繕料〕建物外部の看板の修理費用である。 〔委託料〕モップのリース、業者による床清掃や消防設備点検、布団のクリーニングにかかる支出である。 〔その他〕昼食用食材の購入費、研修参加費、病児保育士試験受験にかかる経費等として支出がなされた。故障のため計画にはなかった備品のパソコンを購入したが、利用人数が計画を下回ったため昼食用食材の購入費は減少し、全体額は計画より少し下回った。	適		
管理費	904,500	937,053	32,553				
消耗品費	170,000	153,498	△16,502				
燃料費	0	0	0				
印刷製本費	0	0	0				
光熱水費	0	0	0				
修繕料	98,000	153,700	55,700				
通信運搬費	1,500	1,348	△152				
広告料	0	0	0				
手数料	0	0	0				
保険料	5,000	4,694	△306				
委託料	170,000	169,238	△762				
その他	460,000	454,575	△5,425				
事業費	0	0	0				
一般管理費	0	0	0				
支出計	17,504,500	17,352,171	△152,329				
収支	335,500	420,213	84,713				

総合コメント

平成26年度は、インフルエンザ・感冒の流行がともに穏やかであったこと、また、軽症傾向であったことから、平成25年度よりも利用者が減少し、加配職員の配置が少なかったことにより、事業収支はプラスとなった。管理費においては、修繕料で計画額を上回ったものの、指定管理料内で適正に執行されていた。

平成26年度 病児保育室『カンガルーム』運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
利用実績		<p>開所日数：282日（昨年度比：△4日） 延べ利用者数：1,311人（昨年度比：△339人） 平均利用率：4.6人/日（昨年度比：△1.2人/日） 稼働率：95.27%（昨年度比：△2ポイント）</p> <p>開所日数や利用者数は、その年の病気の流行により左右される。平成26年度は、平成25年度を下回ったが、定員6名であることを考えると、平均利用率としては例年通り高いといえる。</p>	適
事業 収支	収入	収入については、指定管理料のほか、昼食代負担金等であった。	適
	支出	人件費については、利用者数に応じて加配職員を配置している。利用人数が計画より少なかったため、実施内容の人件費が実施計画を下回り、昨年に比べ減少した。その他の支出については、項目ごとにはばらつきがあるものの、合計額では対計画99.15%の執行率であり、ほぼ計画通りの支出であった。	適

平成26年度 四日市市病児保育室『カンガルーム』 業務の履行状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	業務従業者の要件等	業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか	書類確認	問題なし	適
	法令等の遵守	法令等で定められた書類を提出したか	書類確認	問題なし	適
	報告書等の提出	各業務計画書・報告書は提出されたか	書類確認	提出あり	適
		自主事業の計画書・報告書は提出されたか	書類確認	提出あり	適
		収支予算書・決算書は提出されたか	書類確認	提出あり	適
	意思疎通	市と指定管理者との間で十分に連絡がなされているか	担当者との連絡	市担当者による定期的な訪問及び確認あり	適
	各種管理記録等の整備保管	各種業務計画書が整備、保管されているか	書類確認	問題なし	適
		業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか	書類確認	問題なし	適
		整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで）	書類確認	問題なし	適
		付保している保険を市に通知しているか（更新を含む）	書類確認	問題なし	適
非常時・緊急時の対応	緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか	書類確認	問題なし	適	
	緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか	—	緊急事態発生なし	—	
建築物保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	実地確認	問題なし	適
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	実地確認	問題なし	適
設備保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	書類確認	問題なし	適
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	実地確認	問題なし	適
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	実地確認	問題なし	適
備品・什器等保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	書類確認	問題なし	適
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	実地確認	問題なし	適
外構施設保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか			
清掃業務	清掃	清掃は確実に実行されているか	実地確認	問題なし	適
警備業務	業務等	業務が計画書に基づいて実施されているか	実地確認	問題なし	適
		不審者に対し適宜質問をしたり、警察へ通報する等のマニュアルを作成しているか	書類確認	問題なし	適
	鍵管理	マスターキー等の管理は適切か	実地確認	問題なし	適
	防災	マニュアルは作成されているか	書類確認	問題なし	適
植物育成管理業務	樹木管理	剪定時期等は適切か			
	花壇管理	四季の植栽は適切か			
施設利用案内	行事開催案内	パンフレット類は整備されているか	実地確認	問題なし	適
	ホームページ作成	ホームページは更新されているか	実地確認	問題なし	適
管理システム受付業務	機器管理	研修を実施しているか			
	システム管理	更新・変更は常になされているか			
		トラブルに対応したか			

総合コメント

全体管理は指定管理者である医療法人 里仁会（病院名：二宮病院）が行っており、緊急事態での対応を含め、施設や機器、設備の管理運営は、法人との連携、また指導により適正に行われている。

平成26年度 四日市市病児保育室『カンガルーム』自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
「カンガルーム通信」の発行	病児保育室の活動状況や保健衛生に関するお知らせなどをチラシで紹介する 発行時期 年3回程度 発行部数 450部/回	季節に応じて「カンガルーム通信」を発行し、カンガルームのほか、時期にあわせた保健指導を記事に含めて周知できるように、各保育園や子育て支援センター、こども未来課窓口に配置した。 年4回（4・8・12・3月）発行 450部/回	予防接種・病気の症状別の適切な対応・子ども向けのおやつについてなど、保護者にとって有益な情報発信を行った。また、カンガルーム内の利用児童の様子や、保育中に児童が取り組んでいる内容の紹介にも努め、まだ利用したことのない保護者に対してのPRにも力を入れている。	適

総合コメント

「カンガルーム通信」では、病児保育室の利用中に行っている保育内容を写真付きで紹介し、保育内容をイメージしやすくすることで、これまで利用したことのない保護者に対してのPRにも、より力を入れた。病児保育室の周知のため、今後も「カンガルーム通信」やリーフレット等を発行して、教育施設や公共機関に配布する。

平成26年度 四日市市病児保育室『カンガルーム』 設備・備品の維持管理状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	実地確認	定期的に電話・訪問を行行情報共有を行っている	適
	記録	整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか	書類確認	適正に行われている	適
建築物保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	適正に行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	実地確認	適正に行われている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	実地確認	適正に行われている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	—	当該年度は工事なし	—
設備保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	適正に行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書類確認	適正に行われている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書類確認	適正に行われている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	実地確認	適正に行われている	適
備品・什器等保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	適正に行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書類確認	適正に行われている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書類確認	適正に行われている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	—	当該年度は工事なし	—
外構施設保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか			
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか			
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか			
	修理	修繕工事は適切であったか	—	当該年度は工事なし	—

総合コメント

病気回復期等の子どもを保育する施設であるため、陰圧方式により空調管理するなど、特に衛生面でも配慮が行き届いた設備管理を行っている。備品の消毒・洗浄についても定期的に行っており、清潔な環境づくりに努めている。屋外についても、入り口はオートロック式で、インターフォンで入所者の確認をしてから入室を許可しているため、防犯面においても細心の注意を払っている。平成26年度は、外壁の看板が破損したため、修繕工事を行った。

平成26年度 四日市市病児保育室『カンガルーム』サービスの質 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
運営業務	使用許可、 利用料金の 徴収	スムーズに予約できたか	現地確認	スムーズかつ柔軟な対応をしている	適
		許可証は速やかに発行されたか	現地確認	即日利用可	適
	施設利用案内	行事開催案内の時期は適切か	—	行事は行っていない	—
		ホームページは見易いか	HP確認	適切に作成されている	適
	受付・応対 業務	担当者の接客態度は良かったか	現地確認	適切である	適
		利用者に対する指導は適切であったか	現地確認	適切である	適
		業務従業者は名札を着用しているか	現地確認	適切である	適
運営業務	講座やイベントは満足できる内容であったか	—	イベントなし	—	
維持管理業務	施設・設備 の保守管理 業務	施設が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認	問題なし	適
		設備が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認	問題なし	適
	清掃業務	トイレトーパー、消毒用品、手洗い用石鹸は常に補給されているか	現地確認	良好である	適
		全体的（駐車場を含む）に、見た目清潔に保たれているか	現地確認	清潔であった	適
	警備業務	避難経路には障害物がないか	現地確認	問題なし	適
	外構・植栽 管理業務	機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	現地確認	良好である	適
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認	支障なし	適
		樹木・花壇は見栄え良く管理されているか			
		草刈りや除草はされているか			
	環境衛生管理業務	快適に利用できる環境となっていたか	現地確認	施設内は整理整頓されている	適
	廃棄物処理業務	廃棄物は適切に分別が行われていたか	現地確認	適切な対応がなされている	適
備品管理業務	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認	支障なし	適	

総合コメント

当施設では、年度初めに1つの品質目標を設定し、それを達成するための具体的取組を掲げ、毎日の業務において実行している。また、月に1～2回病院と合同で研修を行っており、そのテーマも、「障害児対応について」「アレルギーについて」など、その時々で課題となっていることを盛り込み、更なるサービス向上に努めている。また、取得している「ISO9001（品質マネジメントシステム）」の規定で毎年2回の利用者アンケートを行っているが、その結果を見ると、利用者満足度はどの項目においても大変高い評価であった。利用者以外の保護者についても、保育園の協力を得てアンケートを行い、周知度・利用に至らない理由などを把握し、今後のPR方法についても見直しを行った。